

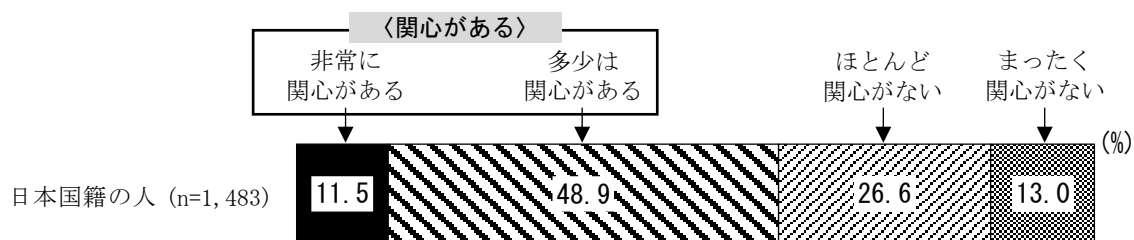
### 3 選挙について

#### 3-1 国や地方の政治への関心度

◎〈関心がある〉が60.4%

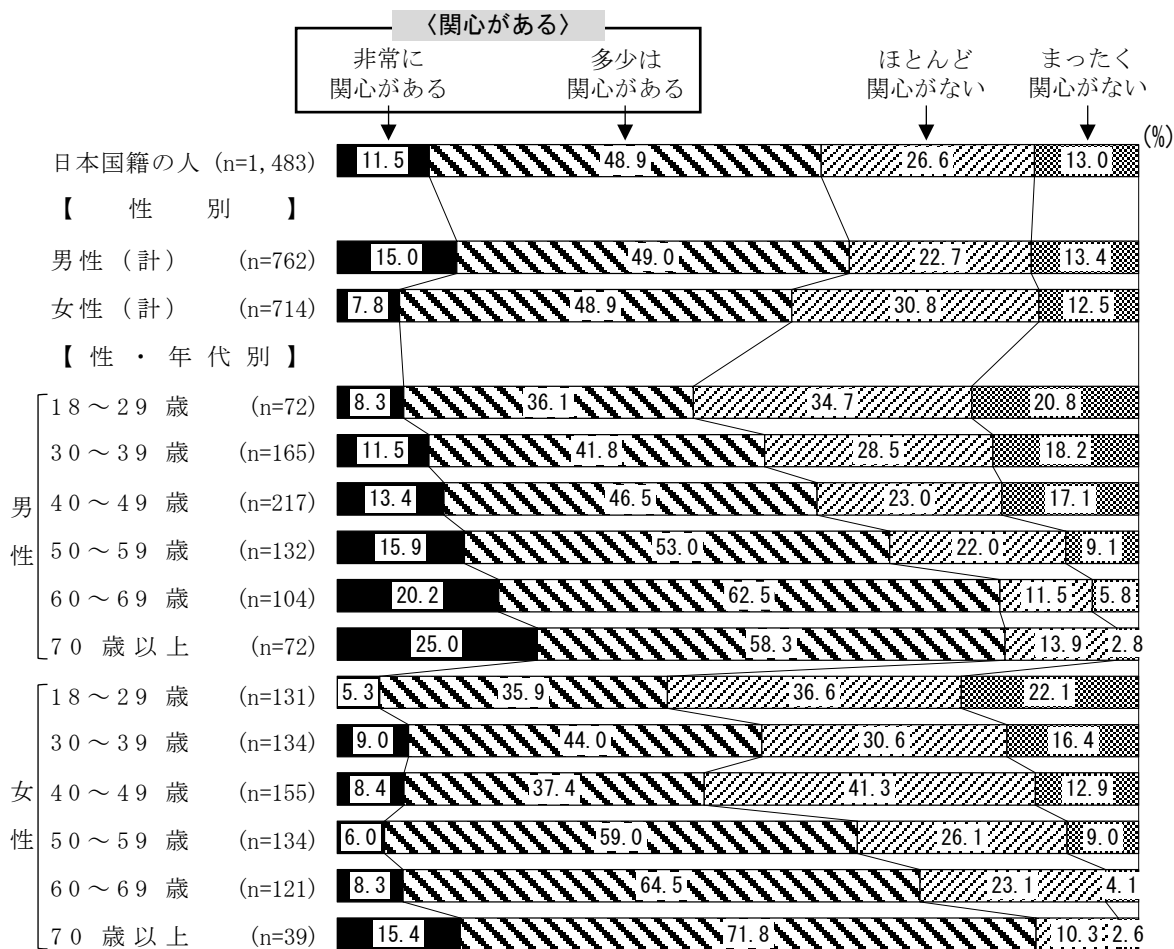
問10. あなたは、ふだん国や地方の政治にどの程度関心がありますか。(1つだけ)

図表3-1 国や地方の政治への関心度



日本国籍の人に対して、ふだん国や地方の政治にどの程度関心があるかを聞いたところ、全体(n=1,483)では「非常に関心がある」(11.5%)、「多少は関心がある」(48.9%)となり、この2つを合わせた〈関心がある〉の合計は60.4%となっている。

図表3-2 国や地方の政治への関心度(性/年齢別)



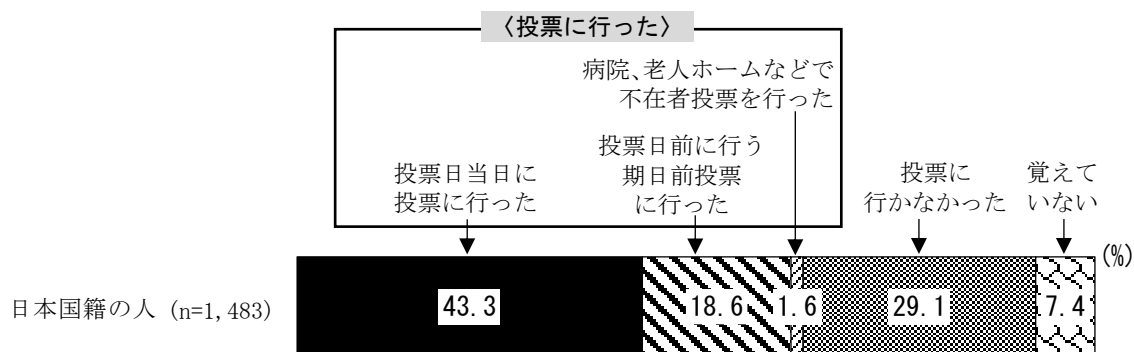
性/年齢別では、おおむね年代が高くなるほど関心度が高くなる傾向があり、男女ともに、18～29歳では「非常に興味がある」と「多少は興味がある」を合計した〈関心がある〉が4割台であるのに対して、70歳以上では8割を超えている。

### 3-2 川崎市長選挙等への投票

◎〈投票に行った〉が63.5%

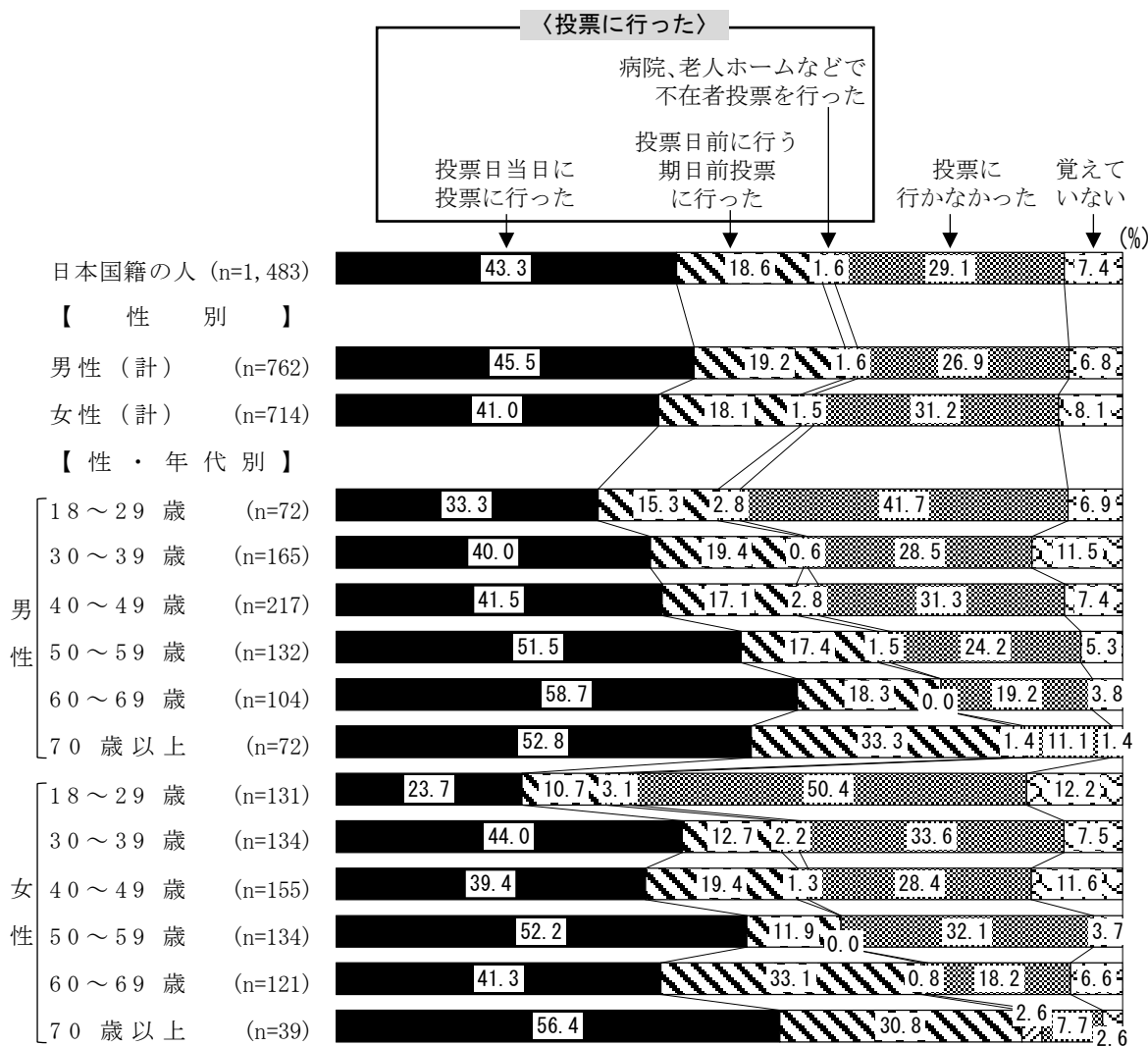
問11. 平成29年10月に行われた川崎市長選挙等では、あなたは投票に行きましたか。(1つだけ)

図表3-3 川崎市長選挙等への投票



「投票日当日に投票に行った」に、「投票日前に行う期日前投票に行った」と「病院、老人ホームなどで不在者投票を行った」を合計した〈投票に行った〉が63.5%となっている。

図表3-4 川崎市長選挙等への投票（性/年齢別）



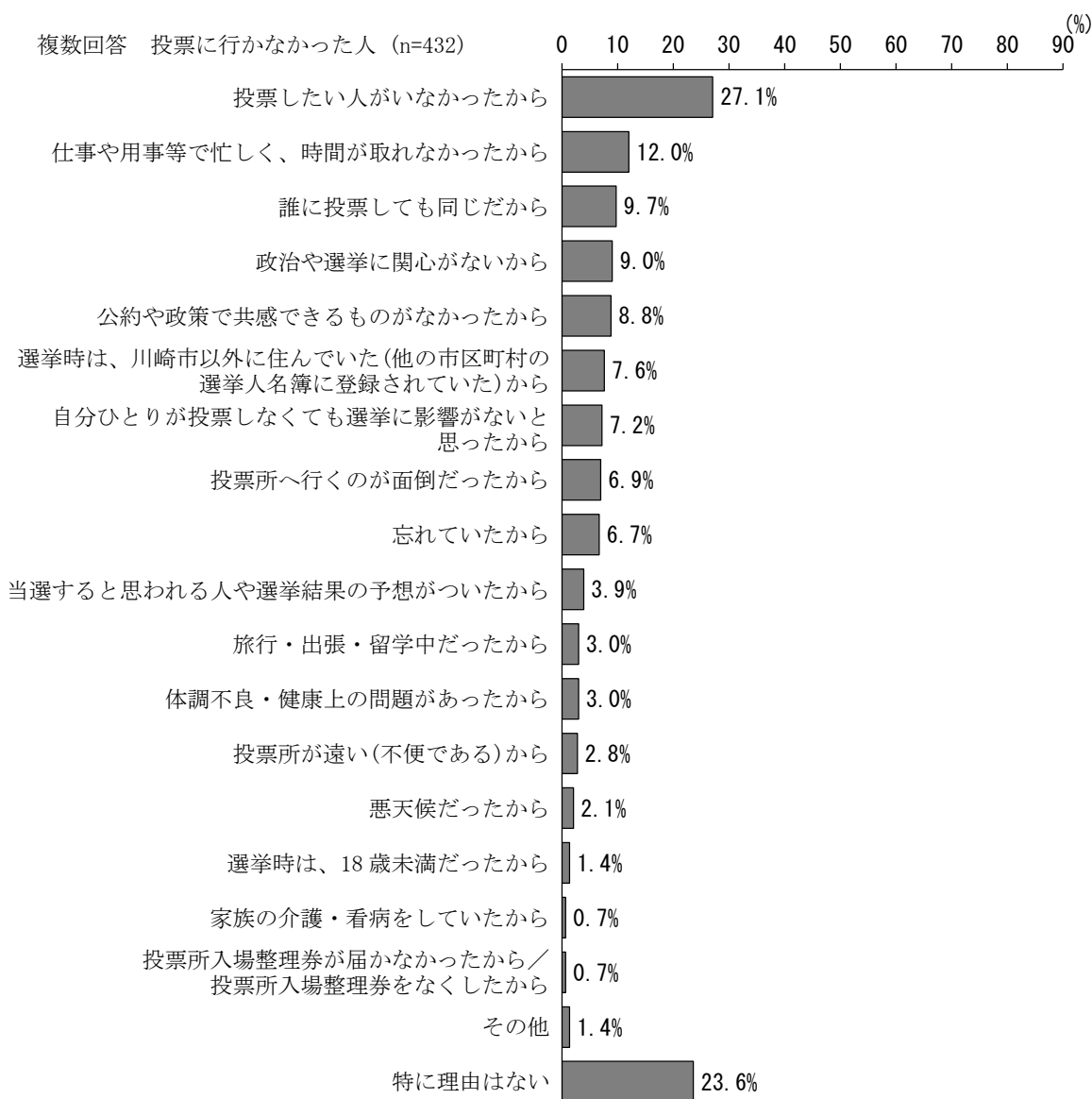
性/年齢別では、全体的に年代が高くなるほど投票率が高くなる傾向があり、「投票日当日に投票に行った」に、「投票日前に行う期日前投票に行った」と「病院、老人ホームなどで不在者投票を行った」を合計した投票に行った割合は、男性の18～29歳が5割で女性の18～29歳が4割弱であるのに対して、男女ともに、70歳以上では9割近くとなっている。

### 3-3 投票に行かなかった理由

◎「投票したい人がいなかったから」が27.1%

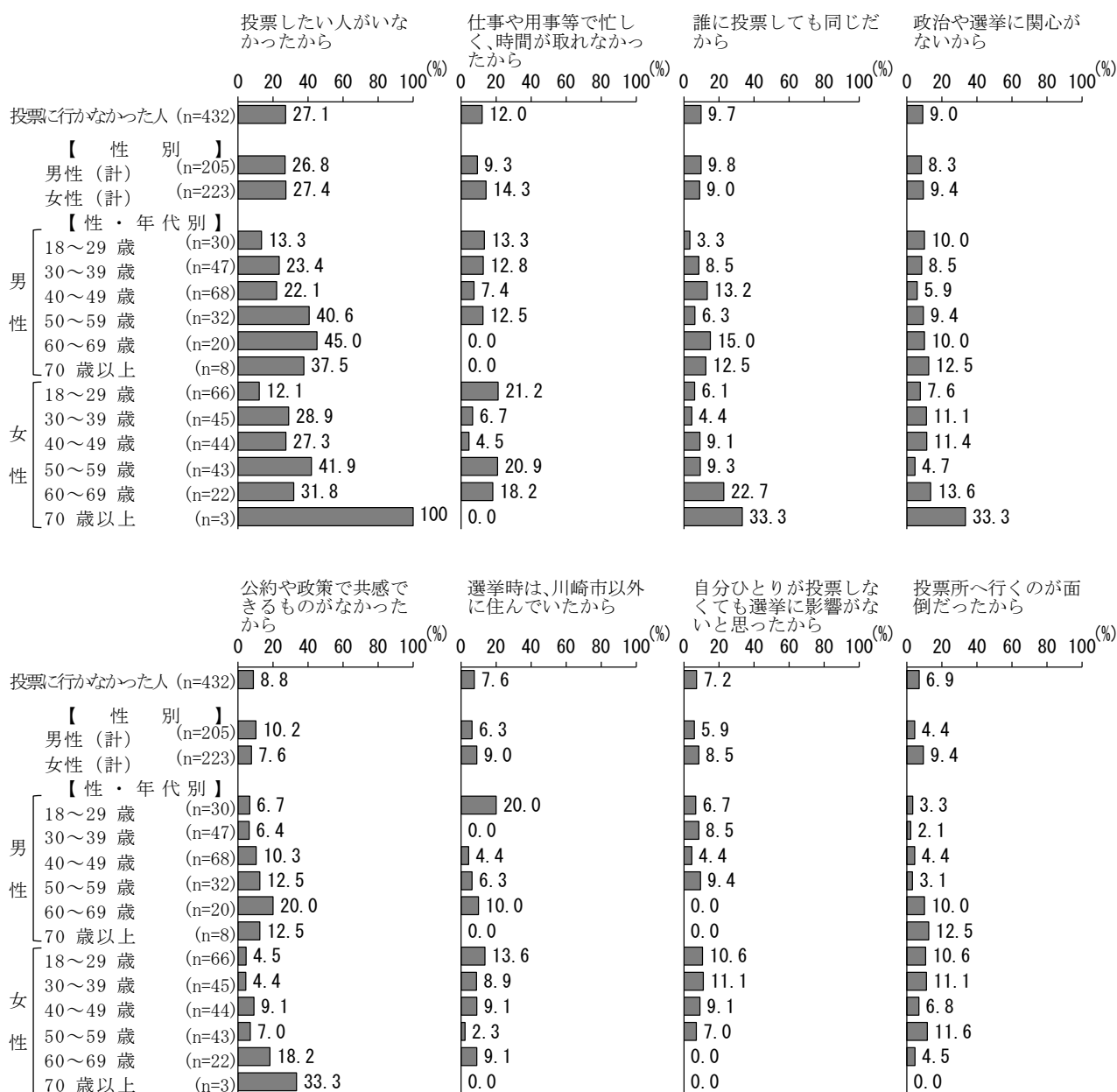
問12. 投票に行かなかったのは、どのような理由からですか。(いくつでも)

図表3-5 投票に行かなかった理由



「投票に行かなかった」人(n=432)に、その理由を聞いたところ、「投票したい人がいなかったから」が27.1%で最も高くなっている。

図表3-6 投票に行かなかった理由（性／年齢別 上位8項目）



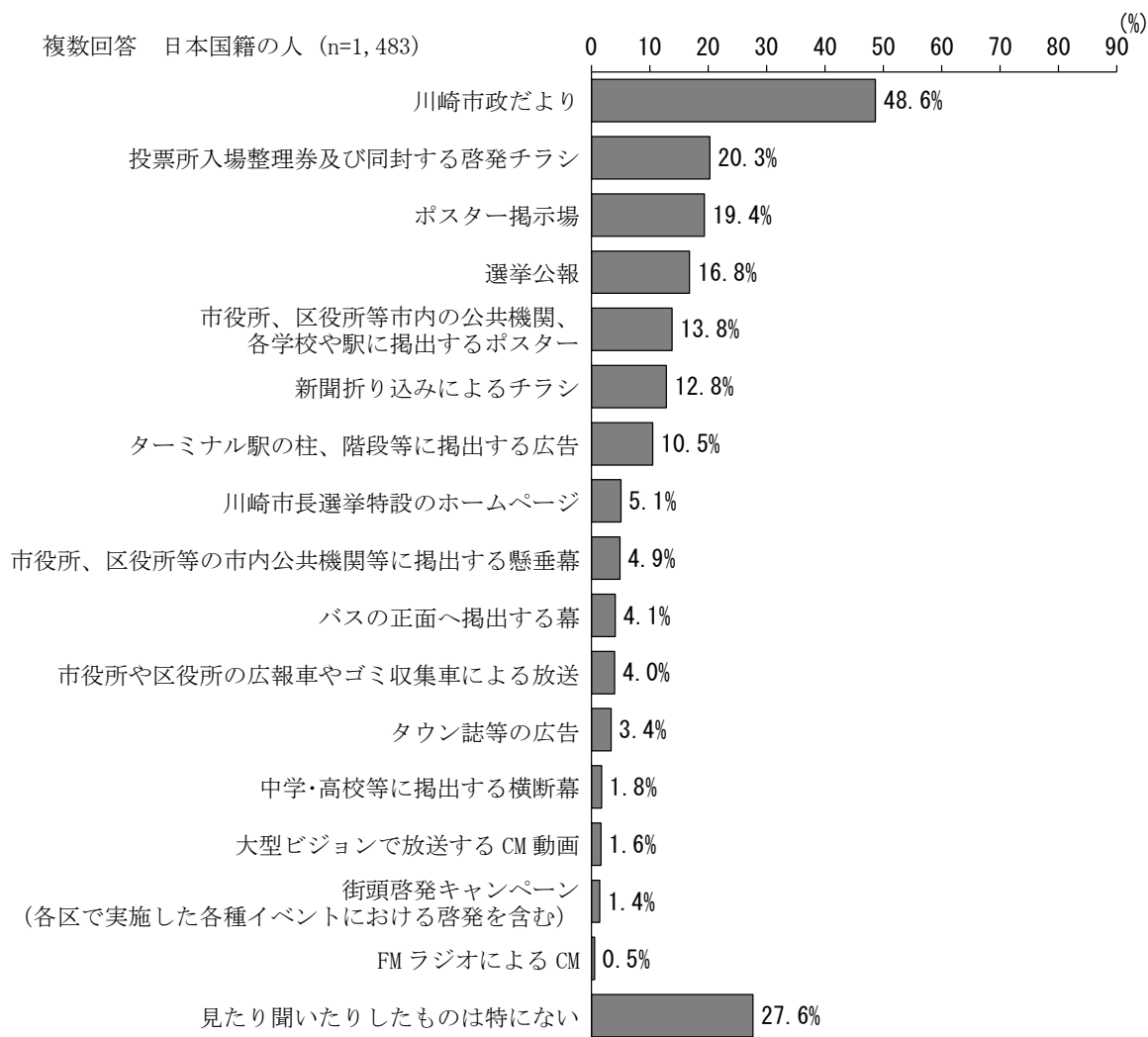
性／年齢別では、男女ともに30歳以上59歳以下の年代では、投票に行かなかった理由の中で、「投票したい人がいなかったから」が最も高い。その他の年代について、最も割合が高かった投票に行かなかった理由を見てみると、男性の18~29歳では「選挙時は川崎市以外に住んでいたから」が、女性の18~29歳では「仕事や用事等で忙しく、時間が取れなかったから」が、それぞれ最も高くなっている。なお、男女ともに60歳以上の年代では回答者数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。

### 3-4 川崎市長選挙等の案内で見たり聞いたりしたもの

◎「川崎市政だより」が48.6%

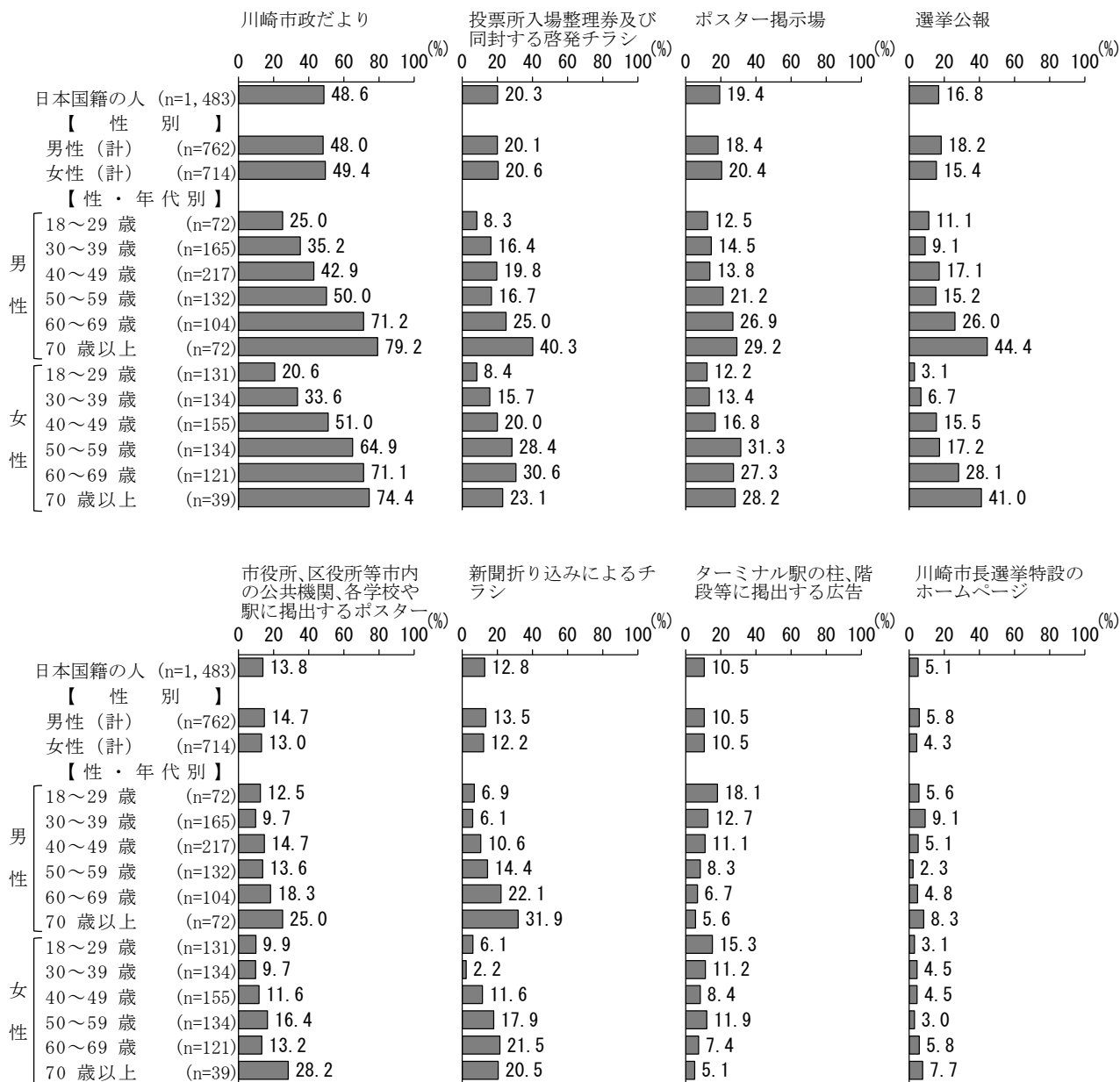
問13. 平成29年10月に行われた川崎市長選挙等で、川崎市では様々な手段で投票日・投票の場所・制度や方法についてご案内しました。以下のリストの中で、あなたが実際に見たり、聞いたりしたものはありますか。(いくつでも)

図表3-7 川崎市長選挙等の案内で見たり聞いたりしたもの



投票日・投票の場所・制度や方法などの選挙に関する案内について、「見たり聞いたりした」ものを聞いたところ、「川崎市政だより」(48.6%)が最も高く、2番目以降は大きく離れて、「投票所入場整理券及び同封する啓発チラシ」(20.3%)、「ポスター掲示場」(19.4%)の順となっている。

図表3-8 川崎市長選挙等の案内で見たり聞いたりしたもの  
(性/年齢別 上位8項目)



性/年齢別では、年代が高くなるほど「川崎市政だより」を「見たり聞いたりした」割合が高くなる傾向があり、男女ともに18~29歳では2割台であるのに対して、60代以上では7割を超えている。男女ともに、18~29歳では、他の年代に比べ、「ターミナル駅の柱、階段等に掲出する広告」が高くなっている。

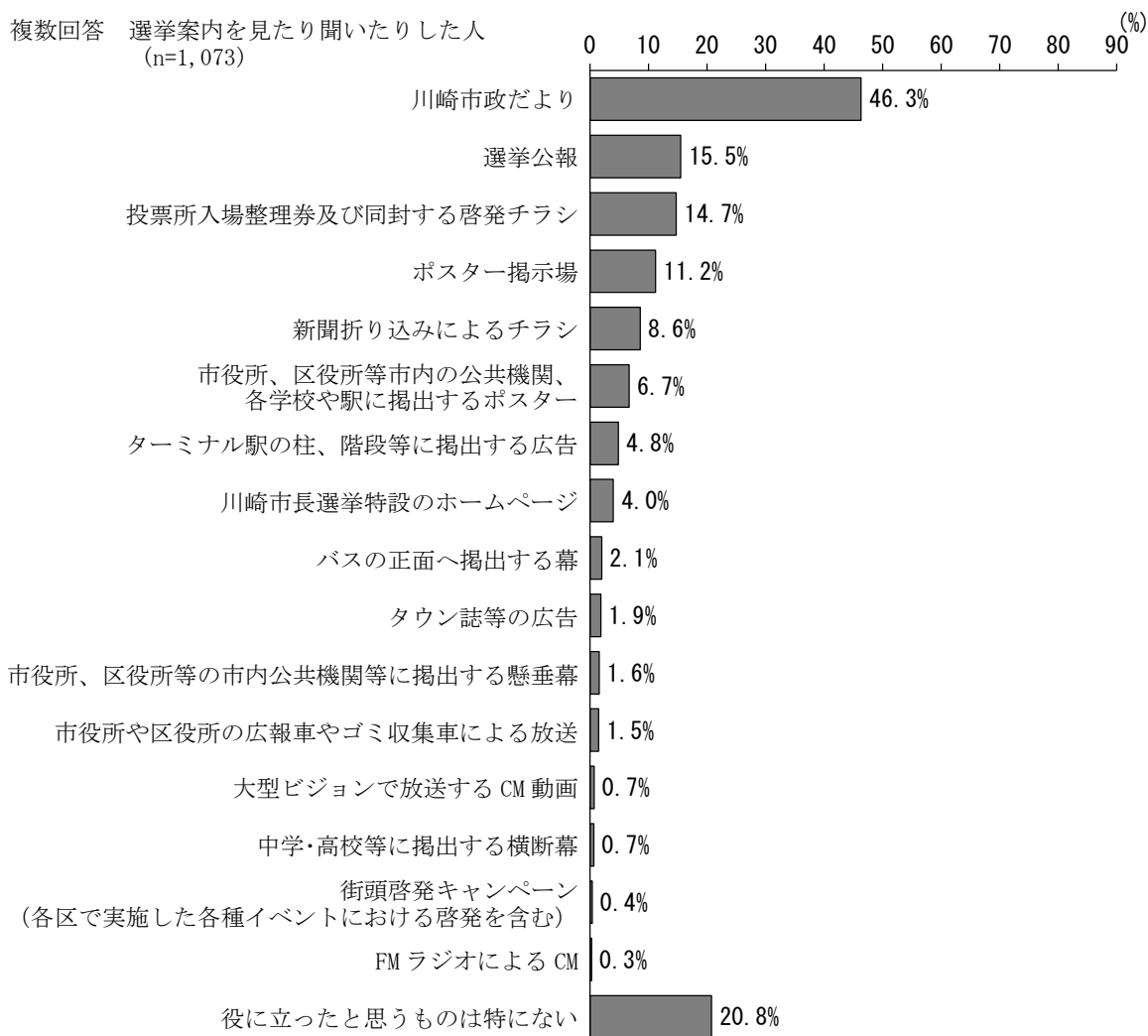


### 3-5 川崎市長選挙等の案内で役に立ったと思うもの

◎「川崎市政だより」が46.3%

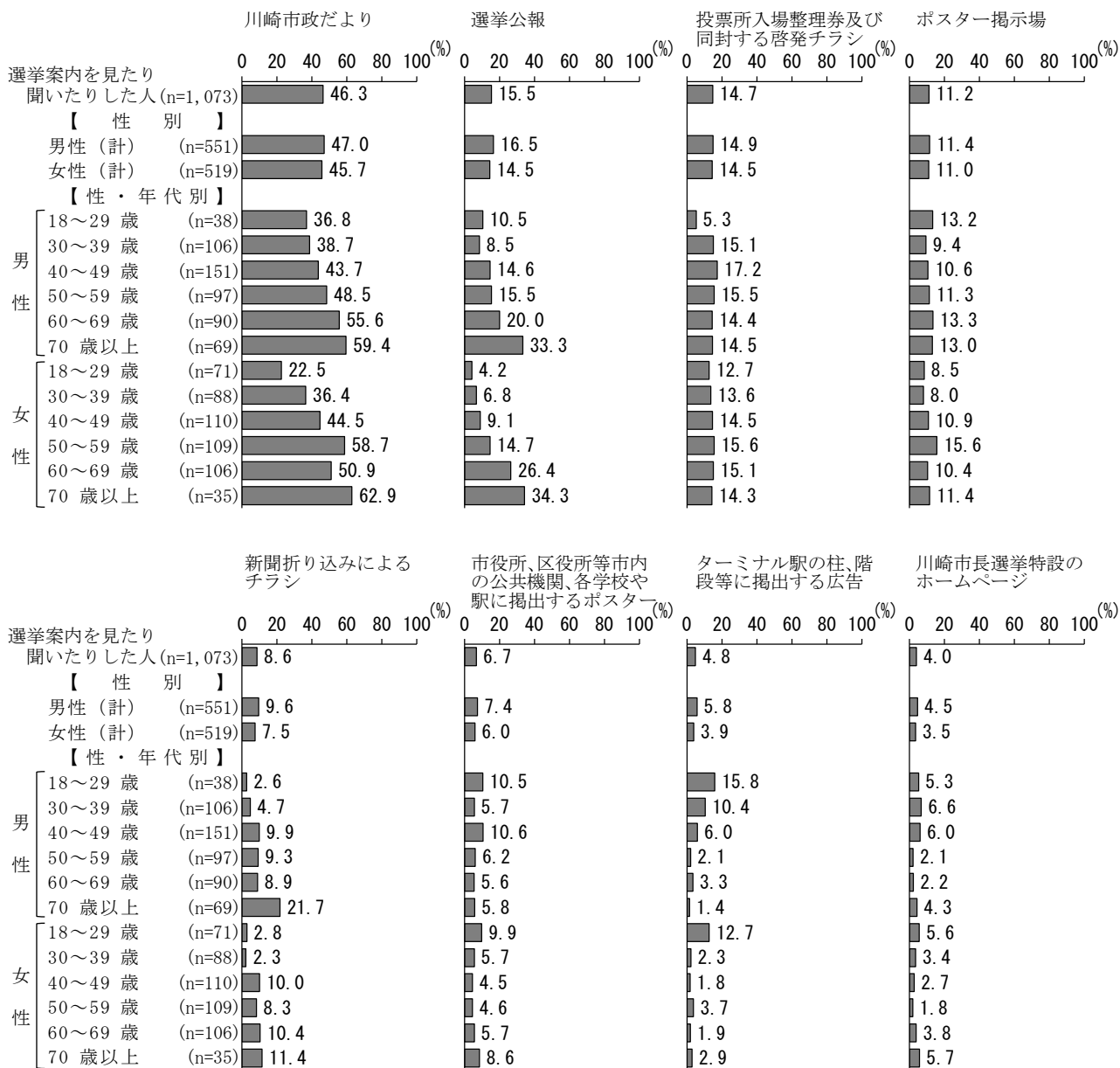
問14. <問13で○が付いた項目のみを表示して>前問で「見たり、聞いたりしたもの」のうち、役に立ったと思うものをすべて教えてください。(いくつでも)

図表3-9 川崎市長選挙等の案内で役に立ったと思うもの



投票日・投票の場所・制度や方法などの選挙に関する案内について、「役に立った」ものを聞いたところ、「川崎市政だより」(46.3%)が最も高く、2番目以降は大きく離れて、「選挙公報」(15.5%)、「投票所入場整理券及び同封する啓発チラシ」(14.7%)の順となっている。

図表3-10 川崎市長選挙等の案内で役に立ったと思うもの  
(性/年齢別 上位8項目)



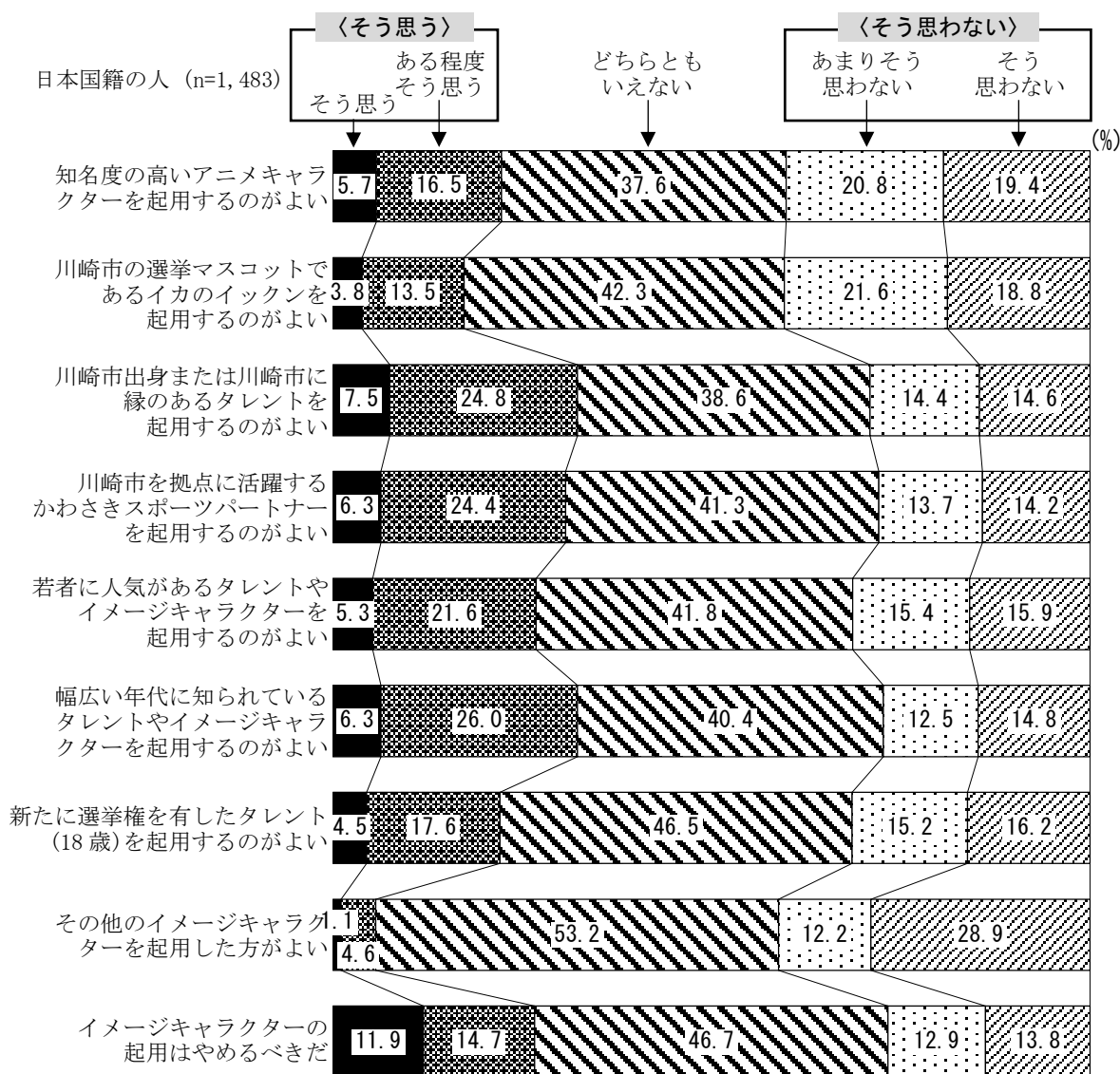
性/年齢別では、年代が高くなるほど「川崎市政だより」が「役に立った」割合が高くなる傾向があり、男女ともに39歳以下の年代では2~3割台であるのに対して、50歳以上の年代では5割前後~6割前後となっている。

### 3-6 選挙の啓発イメージキャラクターについて

◎すべての項目で「どちらともいえない」が最も高い

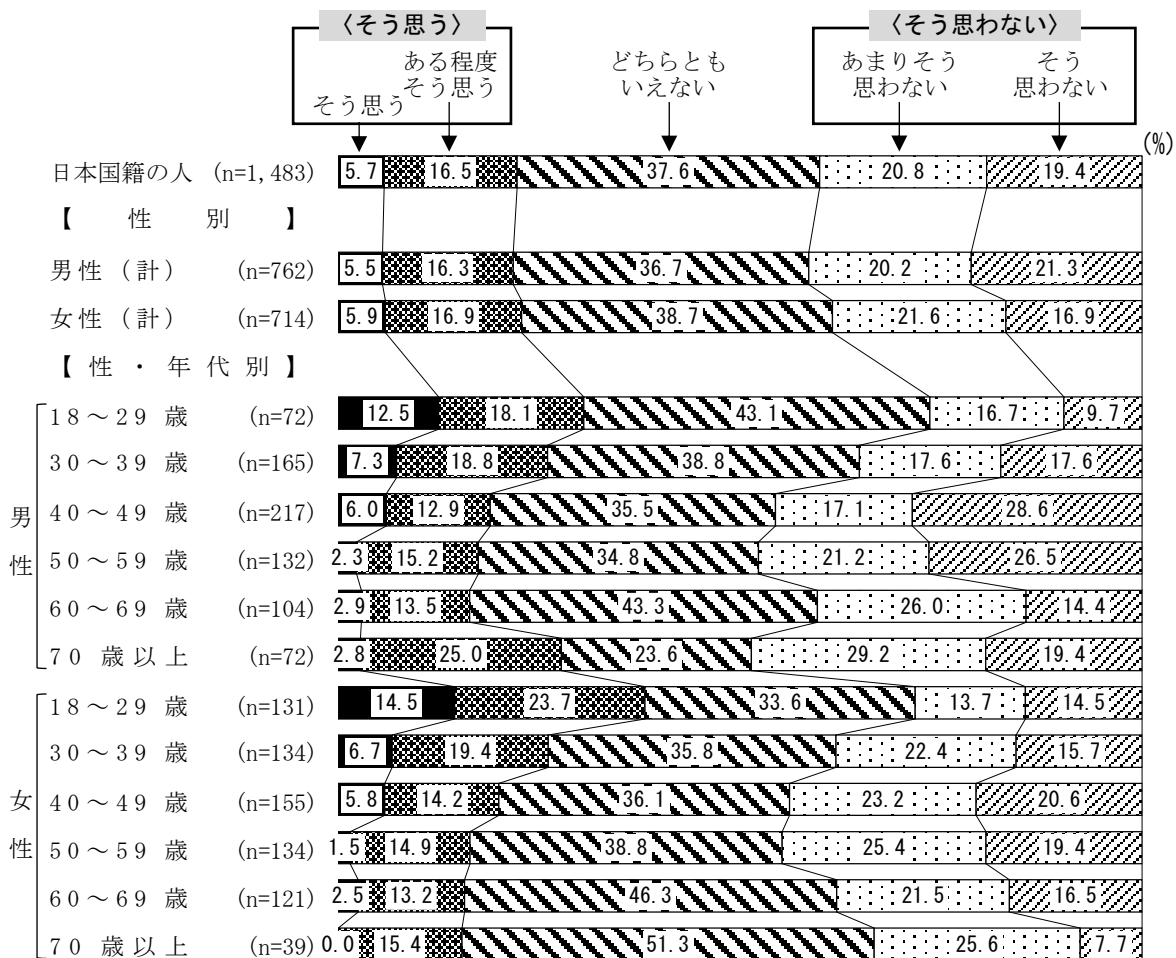
問 15. 川崎市では、有権者のみなさんに貴重な一票を行使していただくために、選挙における投票方法や投票日の周知に努めており、その一環として、選挙の啓発イメージキャラクターを起用しています。選挙の啓発イメージキャラクターについてあなたはどのように思いますか。以下のそれぞれについて、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(ヨコに1つずつ)

図表3-11 選挙の啓発イメージキャラクターについて



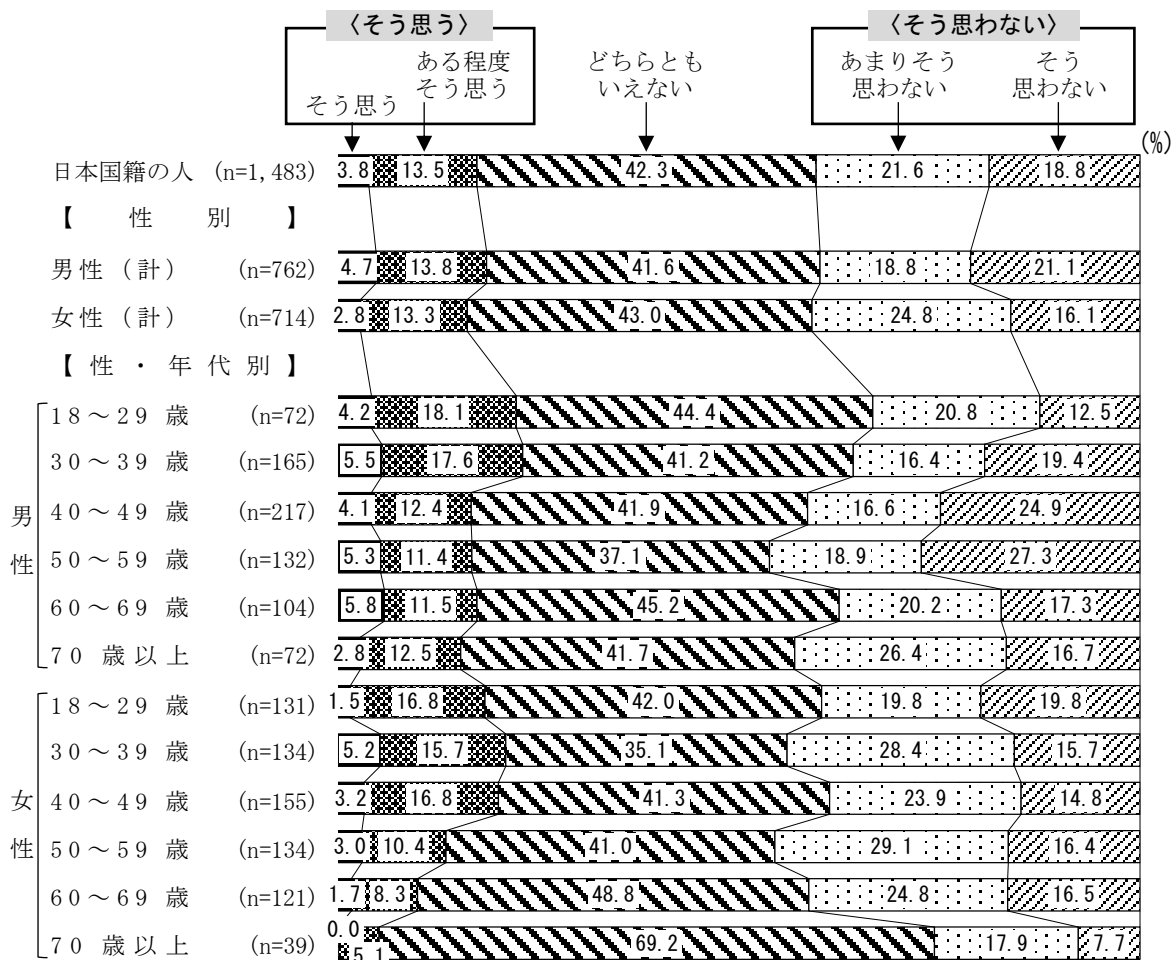
「そう思う」と「ある程度そう思う」を合計した＜そう思う＞は、「川崎市出身または川崎市に縁のあるタレントを起用するのがよい」と「川崎市を拠点に活躍するかわさきスポーツパートナーを起用するのがよい」と「幅広い年代に知られているタレントやイメージキャラクターを起用するのがよい」で約3割であるが、3項目ともに「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合計した＜そう思わない＞も3割近く、「どちらともいえない」が約4割となっている。

図表3-12 選挙の啓発イメージキャラクターについて (性/年齢別)  
 【知名度の高いアニメキャラクターを起用するのがよい】



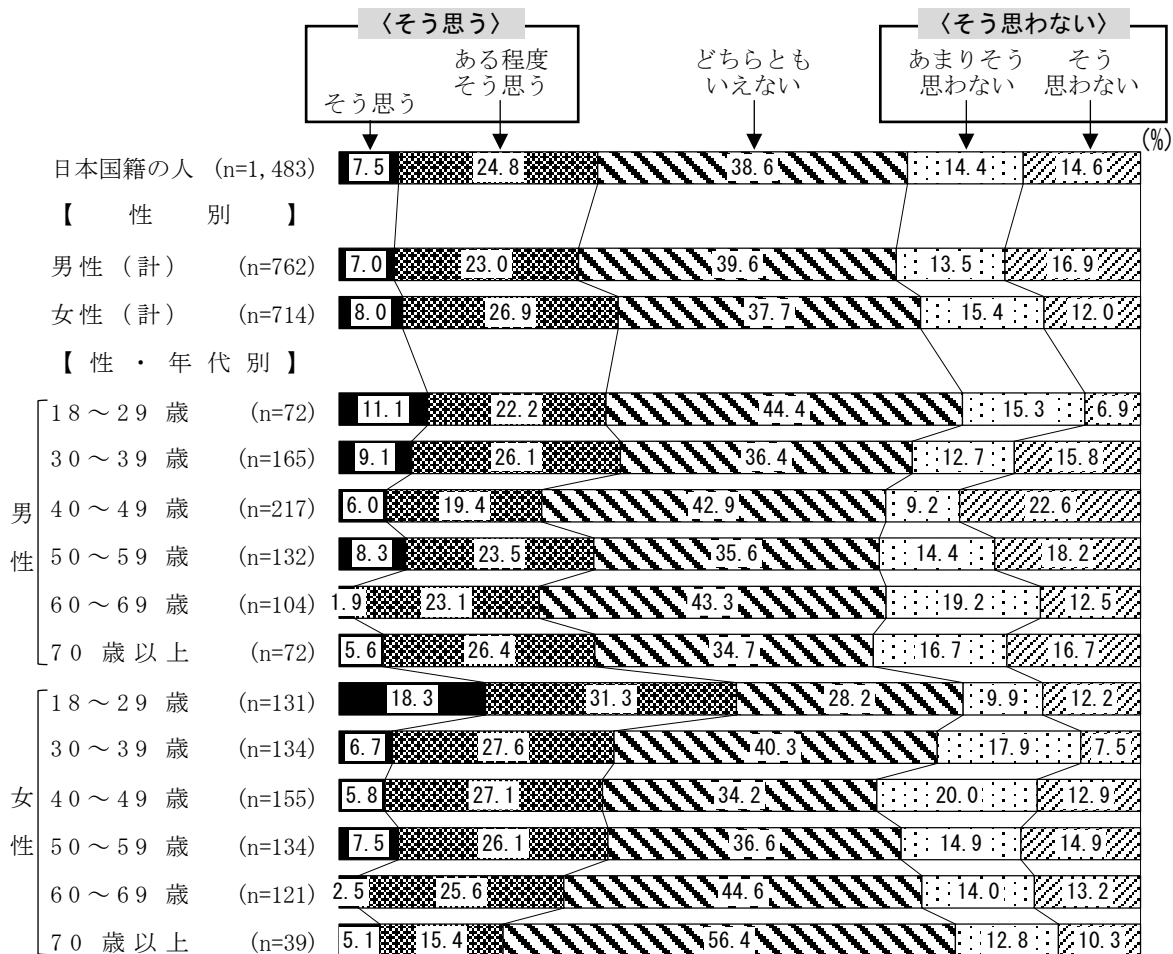
性/年齢別では、男女ともに18～29歳で「そう思う」と「ある程度そう思う」を合計した〈そう思う〉が3割を超えている。一方で、男性の40歳以上の年代と、女性の40～49歳と50～59歳で「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合計した〈そう思わない〉が4割を超えている。

図表3-13 選挙の啓発イメージキャラクターについて (性/年齢別)  
【川崎市の選挙マスコットであるイカのイッくんを起用するのがよい】



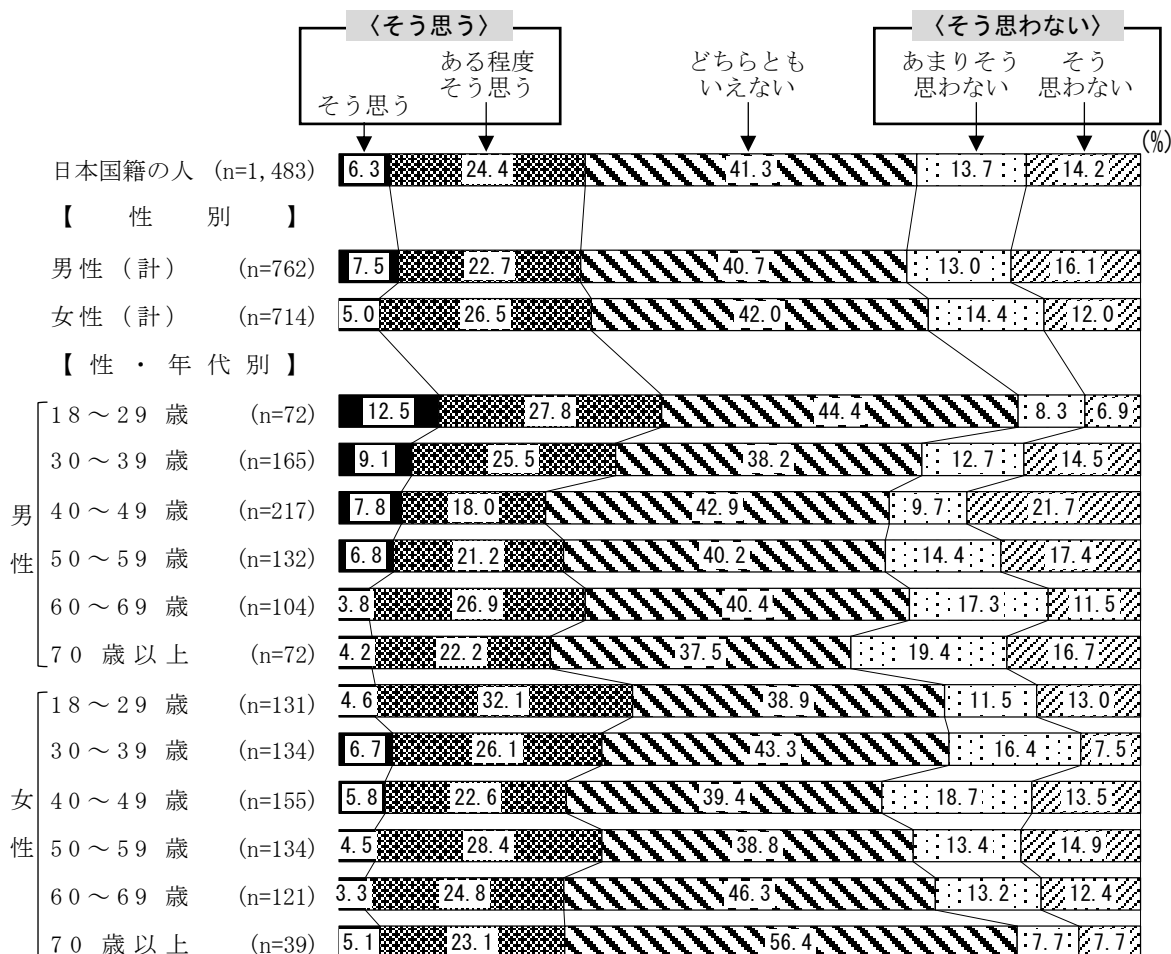
性/年齢別では、男性の18~29歳と30~39歳、女性の30~39歳と40~49歳で「そう思う」と「ある程度そう思う」を合計した<そう思う>が2割を超えている。一方で、女性の70歳以上を除くすべての年代で、「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合計した<そう思わない>が3割を超えている。

図表3-14 選挙の啓発イメージキャラクターについて（性／年齢別）  
【川崎市出身または川崎市に縁のあるタレントを起用するのがよい】



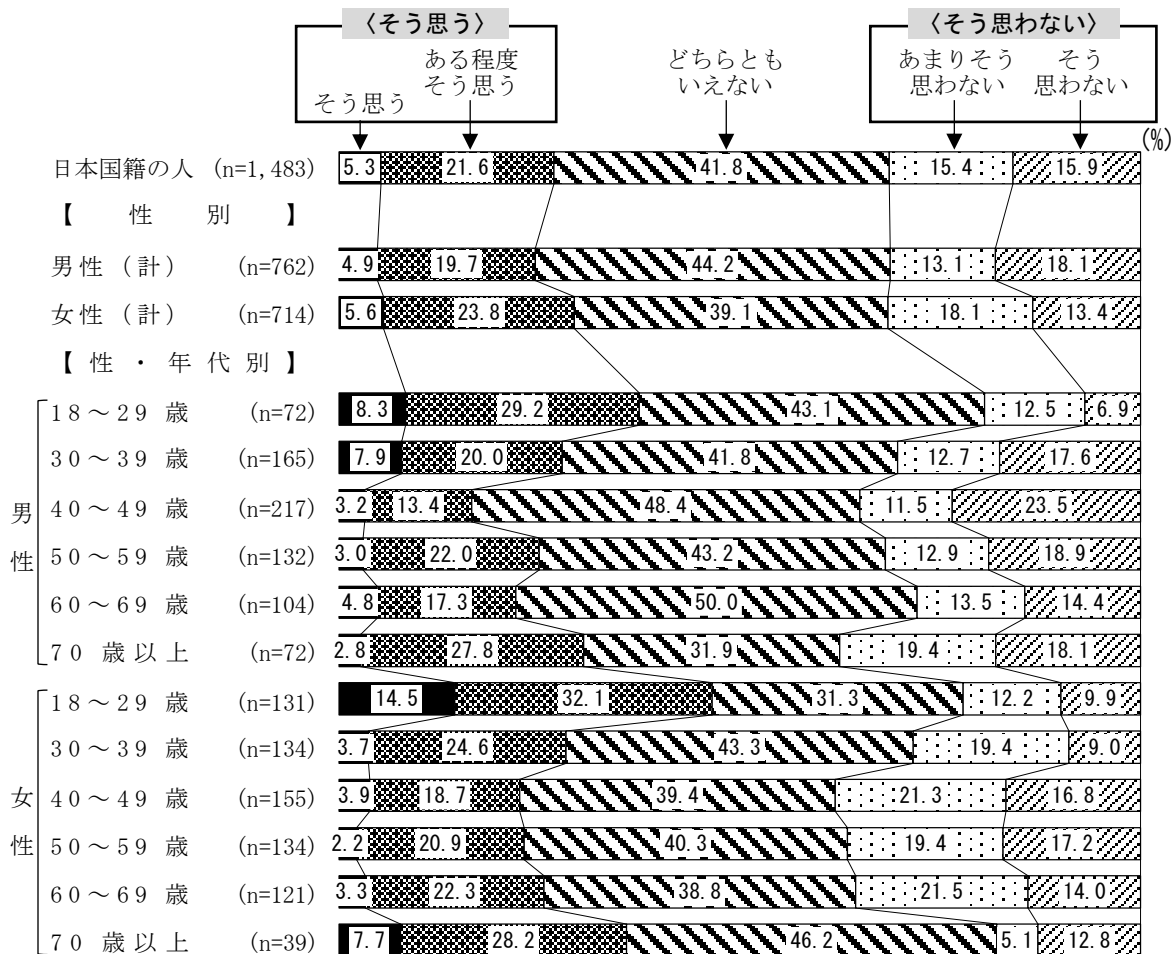
性／年齢別では、女性の18～29歳で「そう思う」と「ある程度そう思う」を合計したくそう思う>が5割近くと、他の年代に比べて大幅に高くなっている。

図表3-15 選挙の啓発イメージキャラクターについて(性/年齢別)  
 【川崎市を拠点に活躍するかわさきスポーツパートナーを起用するのがよい】



性/年齢別では、男性の18～29歳で「そう思う」と「ある程度そう思う」を合計した＜そう思う＞が4割を超え、男性の30～39歳、女性の18～29歳でも＜そう思う＞が3割台半ばとなっている。

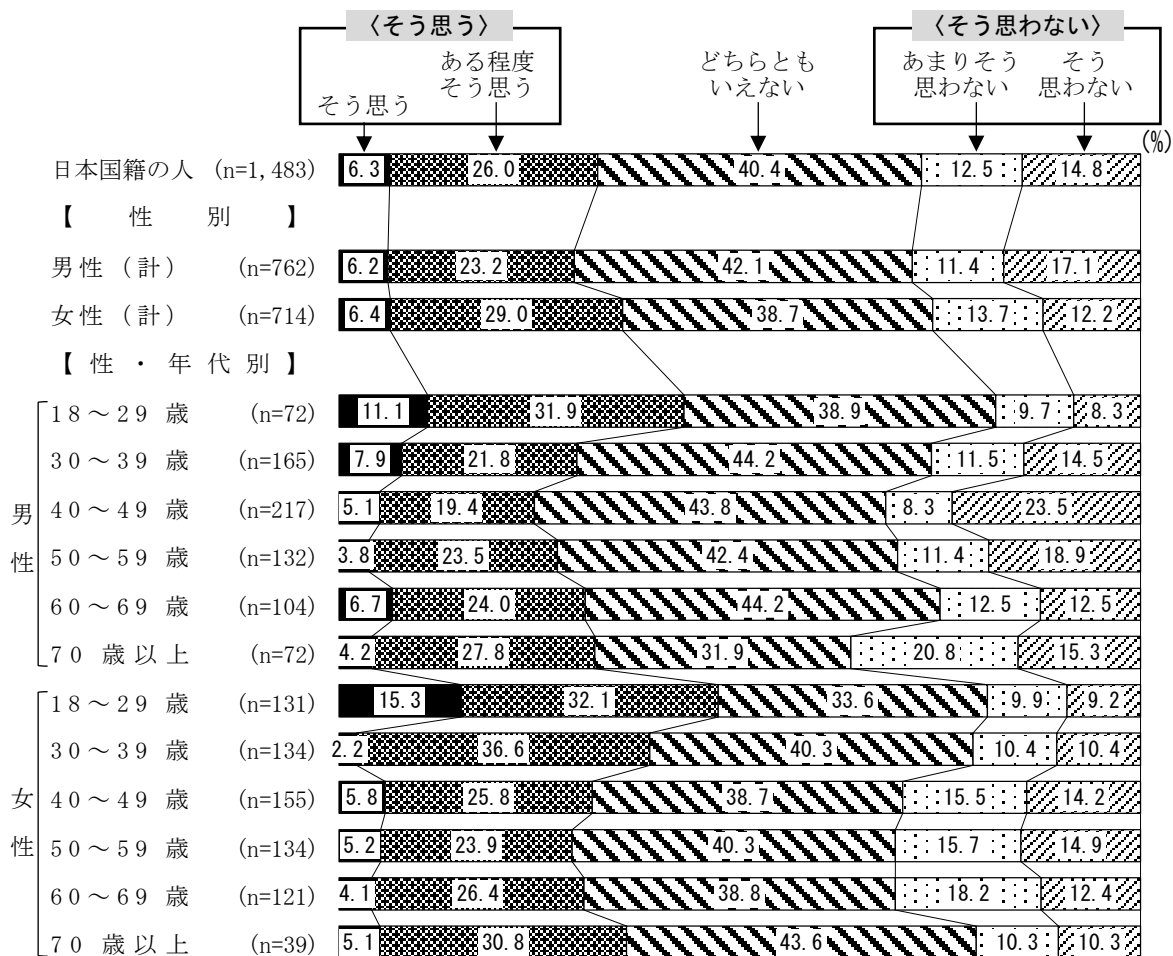
図表3-16 選挙の啓発イメージキャラクターについて(性/年齢別)  
 【若者に人気があるタレントやイメージキャラクターを起用するのがよい】



性/年齢別では、女性の18～29歳で「そう思う」と「ある程度そう思う」を合計したくそう思う>が4割台半ばと、他の年代に比べて大幅に高くなっている。

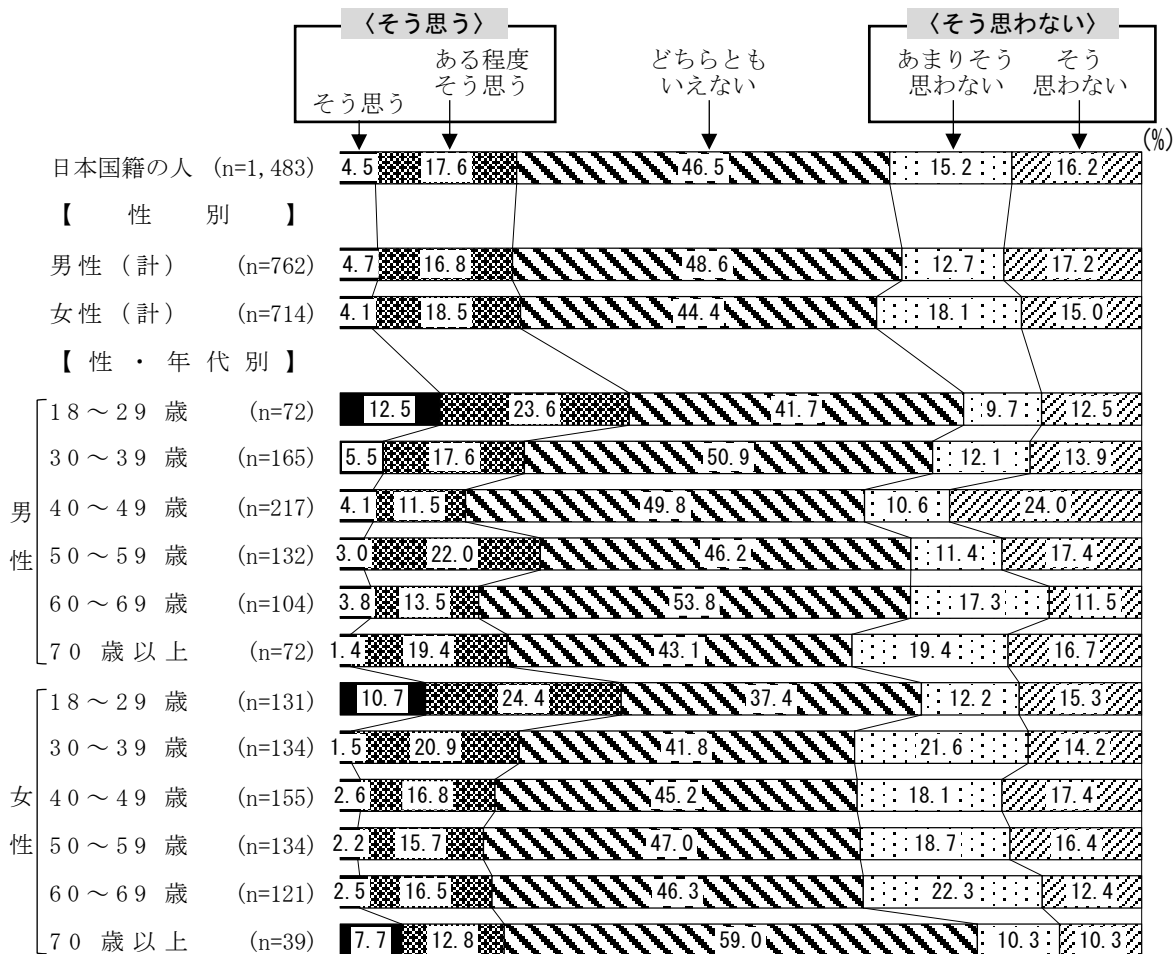


図表3-17 選挙の啓発イメージキャラクターについて（性／年齢別）  
【幅広い年代に知られているタレントやイメージキャラクターを起用するのがよい】



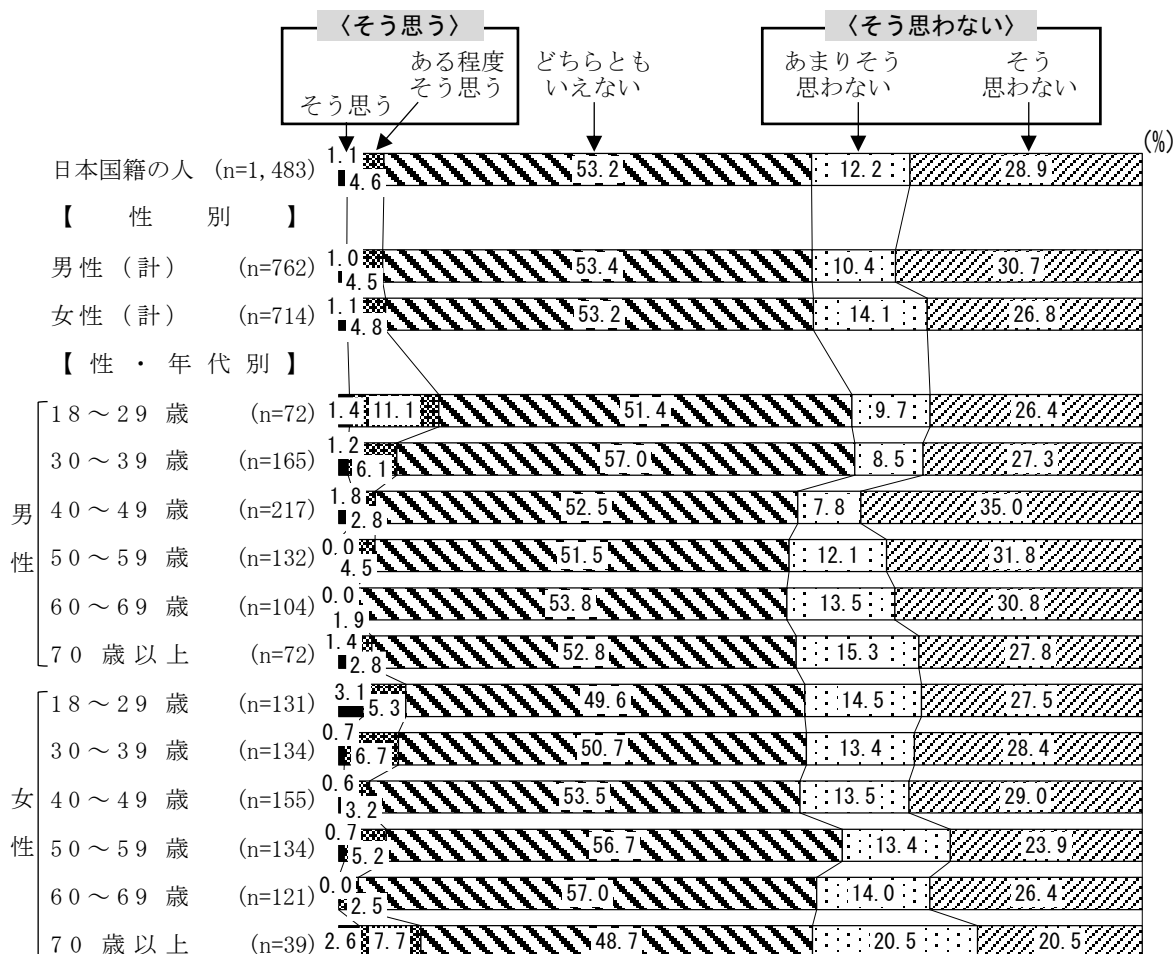
性／年齢別では、男女ともに18～29歳で「そう思う」と「ある程度そう思う」を合計した＜そう思う＞が4割を超え、他の年代に比べ高くなっている。

図表3-18 選挙の啓発イメージキャラクターについて(性/年齢別)  
 【新たに選挙権を有したタレント(18歳)を起用するのがよい】



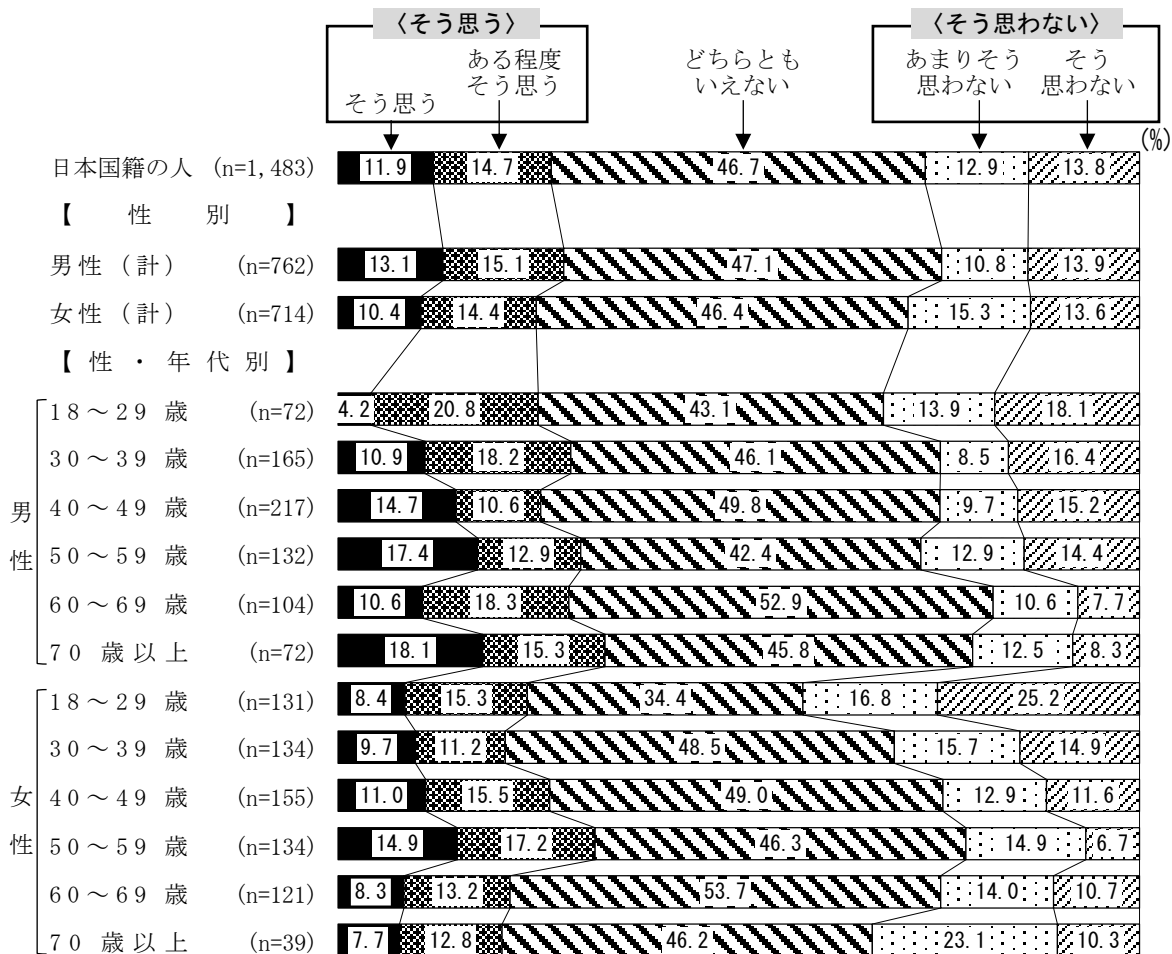
性/年齢別では、男女ともに18~29歳で「そう思う」と「ある程度そう思う」を合計したくそう思う>が3割台半ばと、他の年代に比べ高くなっている。

図表3-19 選挙の啓発イメージキャラクターについて (性/年齢別)  
【その他のイメージキャラクターを起用した方がよい】



性/年齢別では、男性の18～29歳と女性の70歳以上で「そう思う」と「ある程度そう思う」を合計した<そう思う>が1割を超えているが、他の年代は<そう思う>がすべて1割未満となっている。

図表3-20 選挙の啓発イメージキャラクターについて (性/年齢別)  
【イメージキャラクターの起用はやめるべきだ】



性/年齢別では、男性の50～59歳と70歳以上、女性の50～59歳で「そう思う」と「ある程度そう思う」を合計した＜そう思う＞が3割を超えている。一方で、女性の18～29歳では「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合計した＜そう思わない＞が4割を超え、男性の18～29歳、女性の30～39歳と70歳以上では＜そう思わない＞が3割を超えている。

### 3-7 平成31年春川崎市議会議員選挙等の実施認知

◎「知っている」が19.6%

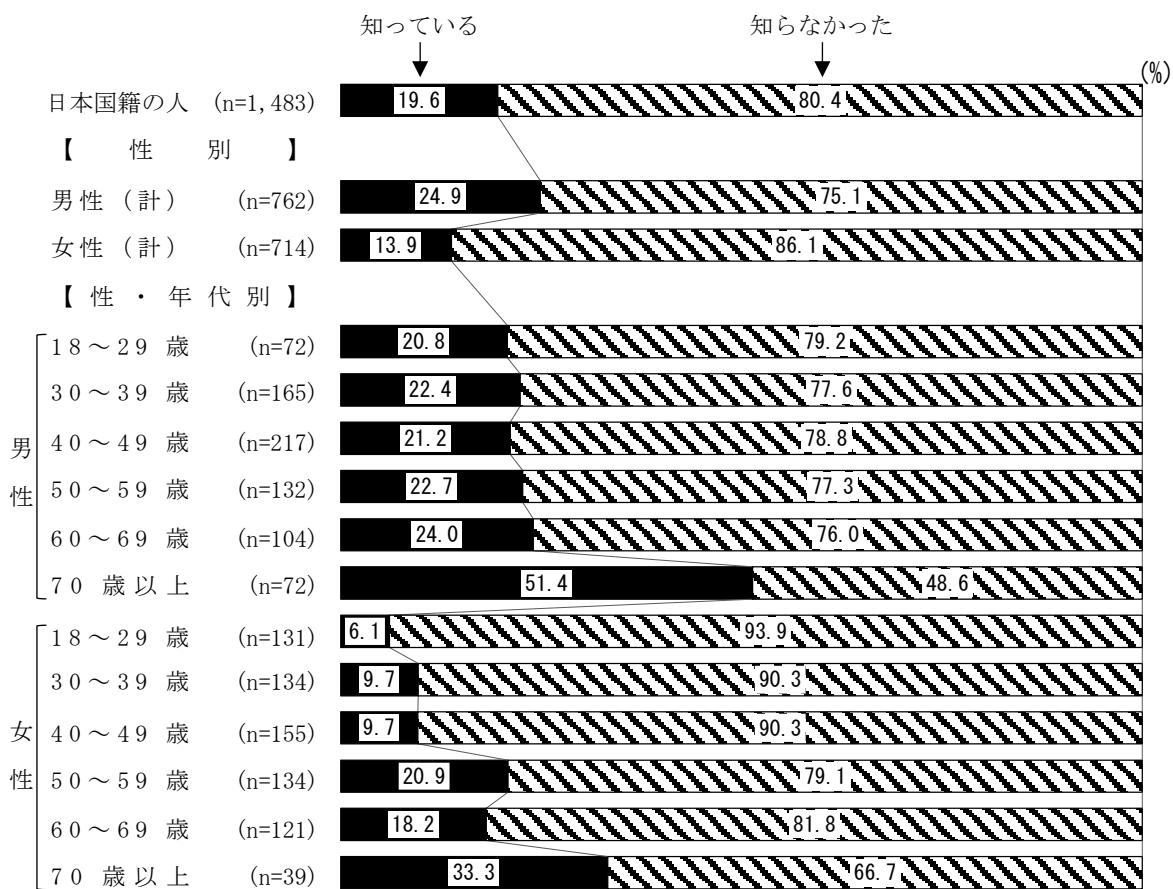
問16. あなたは、平成31年春に川崎市議会議員選挙等が行われることを知っていますか。  
(1つだけ)

図表3-21 平成31年春川崎市議会議員選挙等の実施認知



平成31年春に川崎市議会議員選挙等が行われることを「知っている」が19.6%であった。

図表3-22 平成31年春川崎市議会議員選挙等の実施認知(性/年齢別)



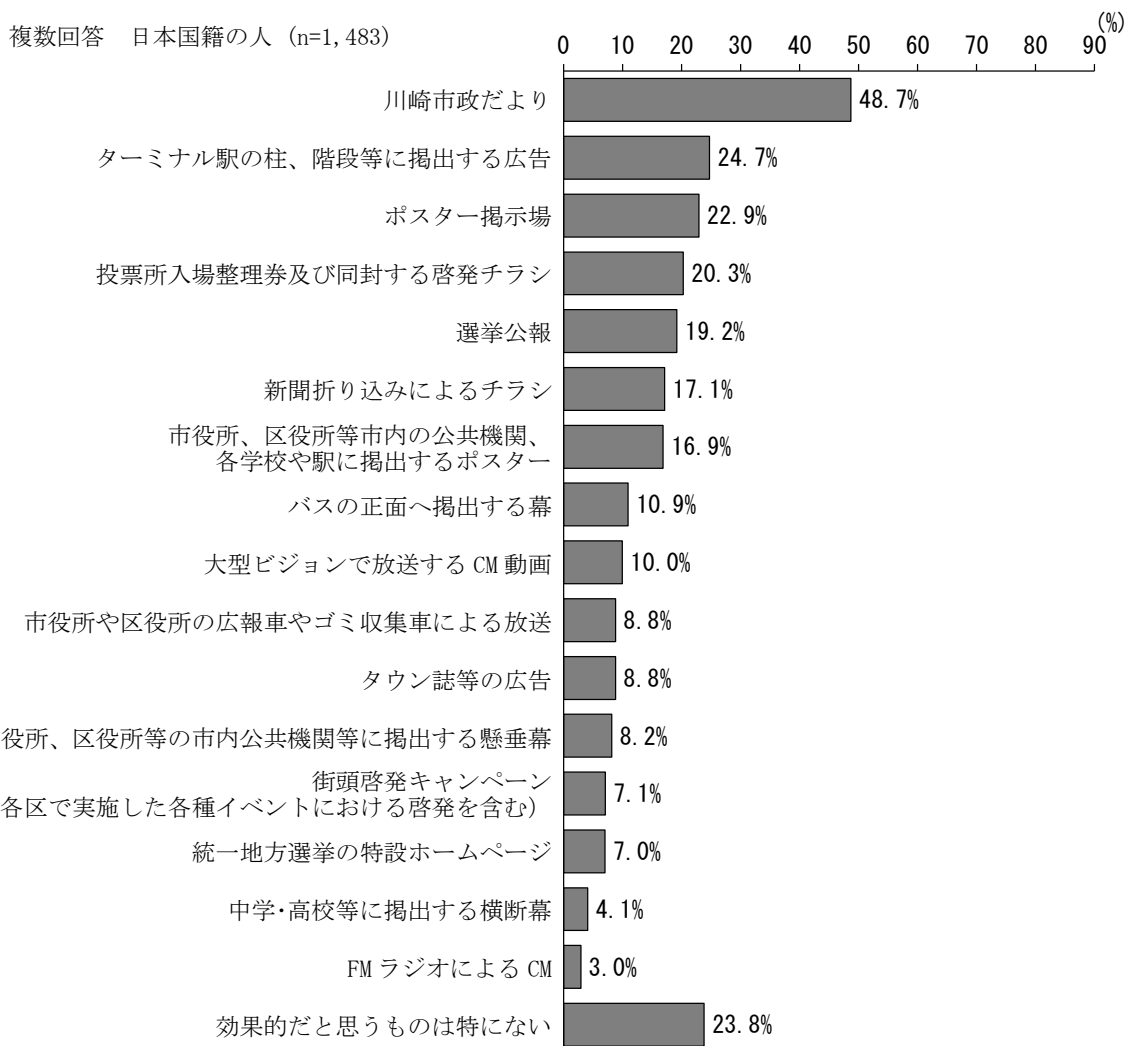
性/年齢別では、男性の70歳以上で5割を、女性の70歳以上で3割を超えているが、他の年代では、2割またはそれ以下となっており、特に49歳以下の女性では1割未満となっている。

### 3-8 平成31年春川崎市議会議員選挙等の案内に効果的だと思うもの

◎「川崎市政だより」が48.7%

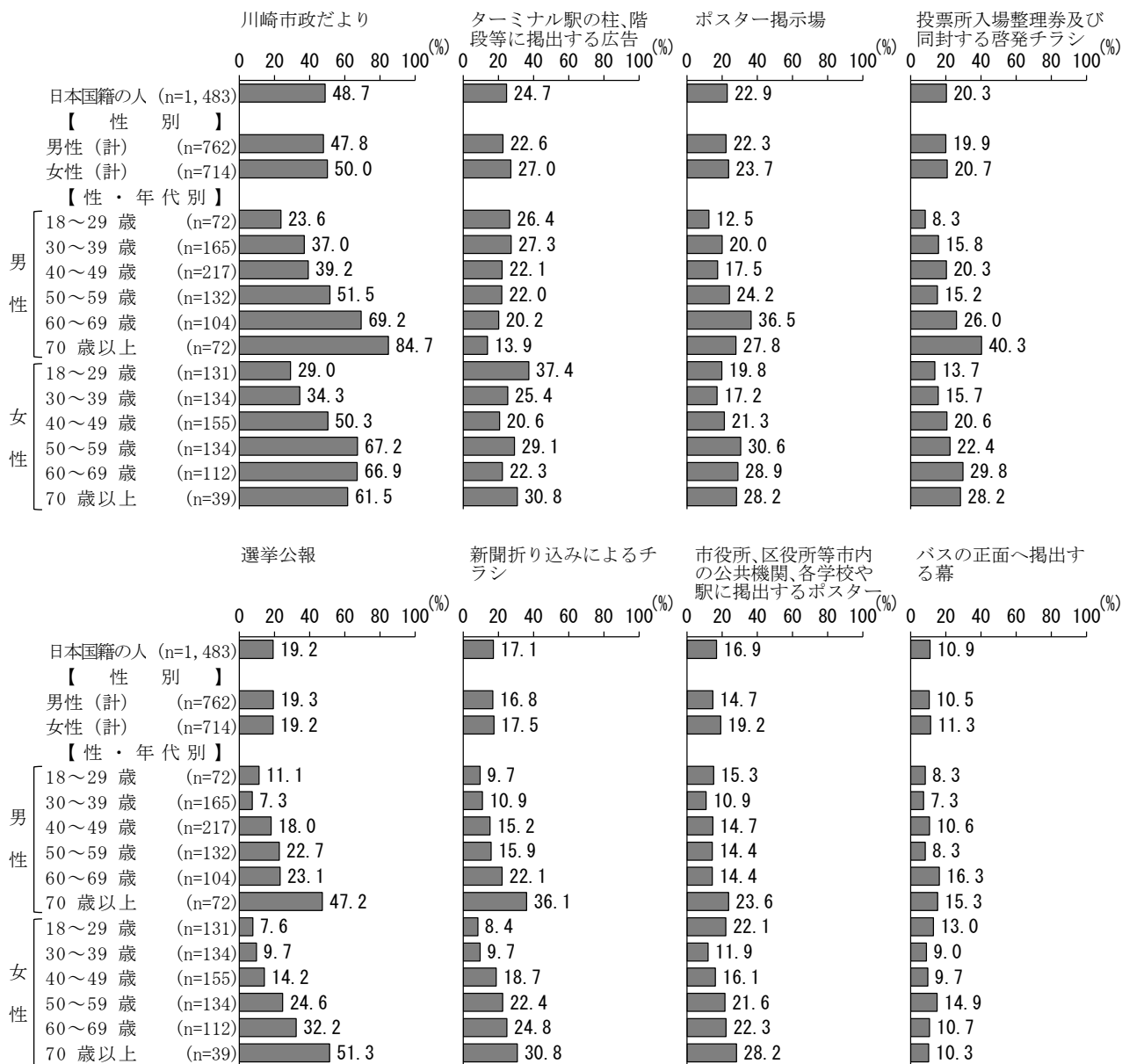
問17. 平成31年春に行われる川崎市議会議員選挙等の投票日・投票の場所・制度や方法等をご案内する手段として、効果的だと思うものはありますか。(いくつでも)

図表3-23 平成31年春川崎市議会議員選挙等の案内に効果的だと思うもの



平成31年春に行われる川崎市議会議員選挙等で効果的だと思う選挙に関する案内手段は、「川崎市政だより」(48.7%)が最も高く、2番目以降は大きく離れて、「ターミナル駅の柱、階段等に掲出する広告」(24.7%)、「ポスター掲示場」(22.9%)の順となっている。

図表3-24 平成31年春川崎市議会議員選挙等の案内に効果的だと思うもの  
(性/年齢別 上位8項目)



性/年齢別では、年代が高くなるほど「川崎市政だより」を「効果的だと思う」割合が高くなる傾向があり、男女ともに18~29歳では2割台であるのに対して、男性の60歳以上の年代と女性の50歳以上の年代では6割を超え、特に男性の70歳以上では8割を超えている。

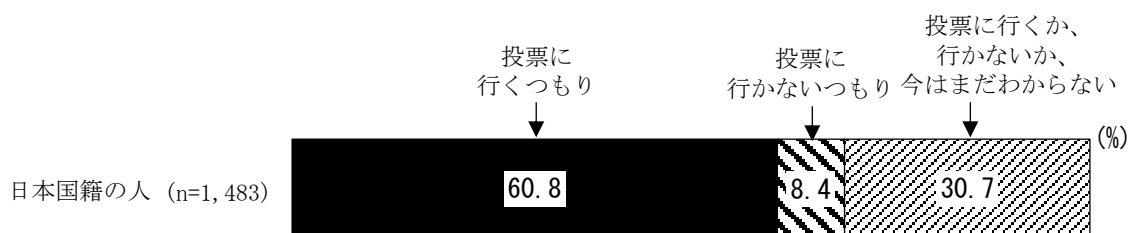


### 3-9 平成31年春川崎市議会議員選挙等の投票について

◎「投票に行くつもり」が60.8%

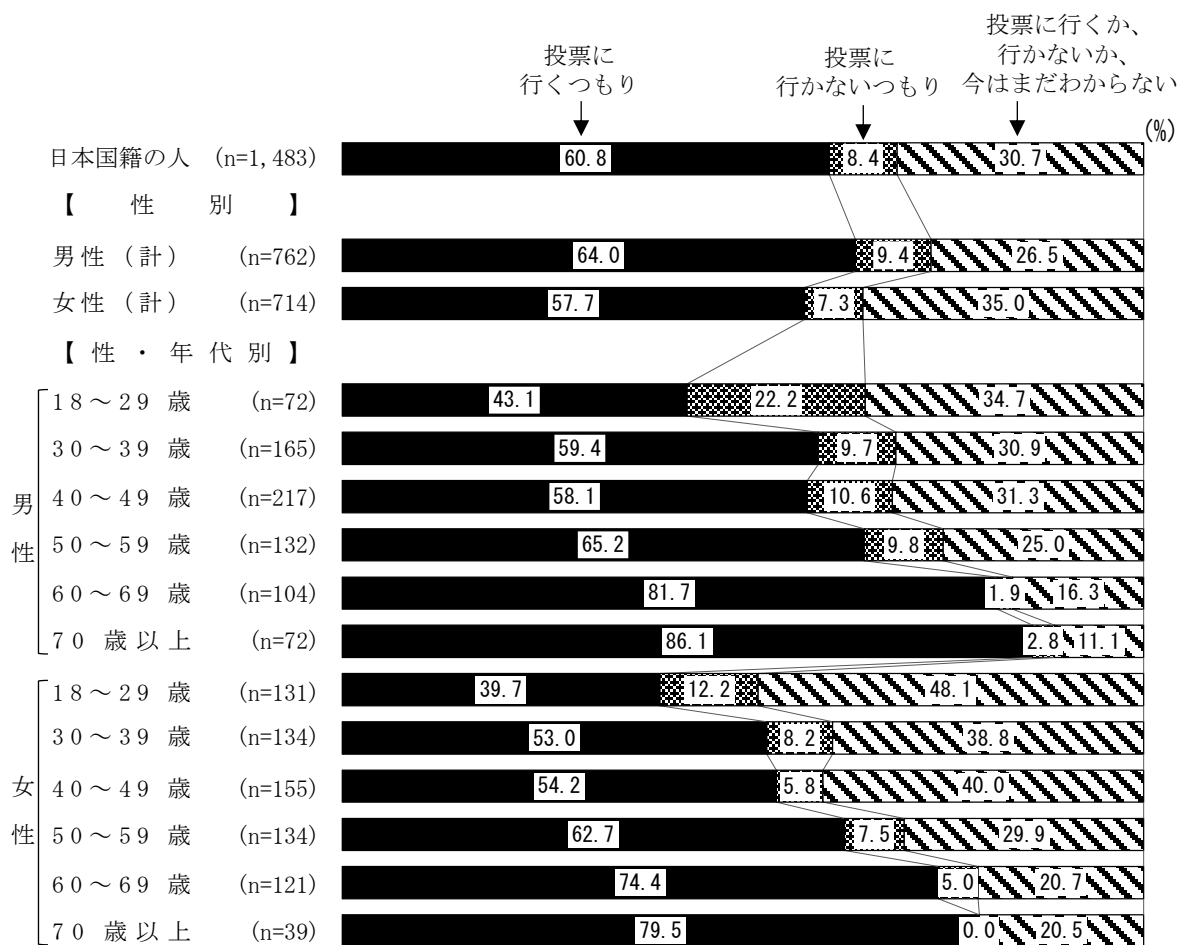
問18. あなたは、平成31年春に行われる川崎市議会議員選挙等の投票についてどのようにお考えですか。(1つだけ)

図表3-25 平成31年春川崎市議会議員選挙等の投票について



平成31年春に行われる川崎市議会議員選挙等の投票意向について聞いたところ、「投票に行くつもり」が約6割となっている。

図表3-26 平成31年春川崎市議会議員選挙等の投票について(性/年齢別)



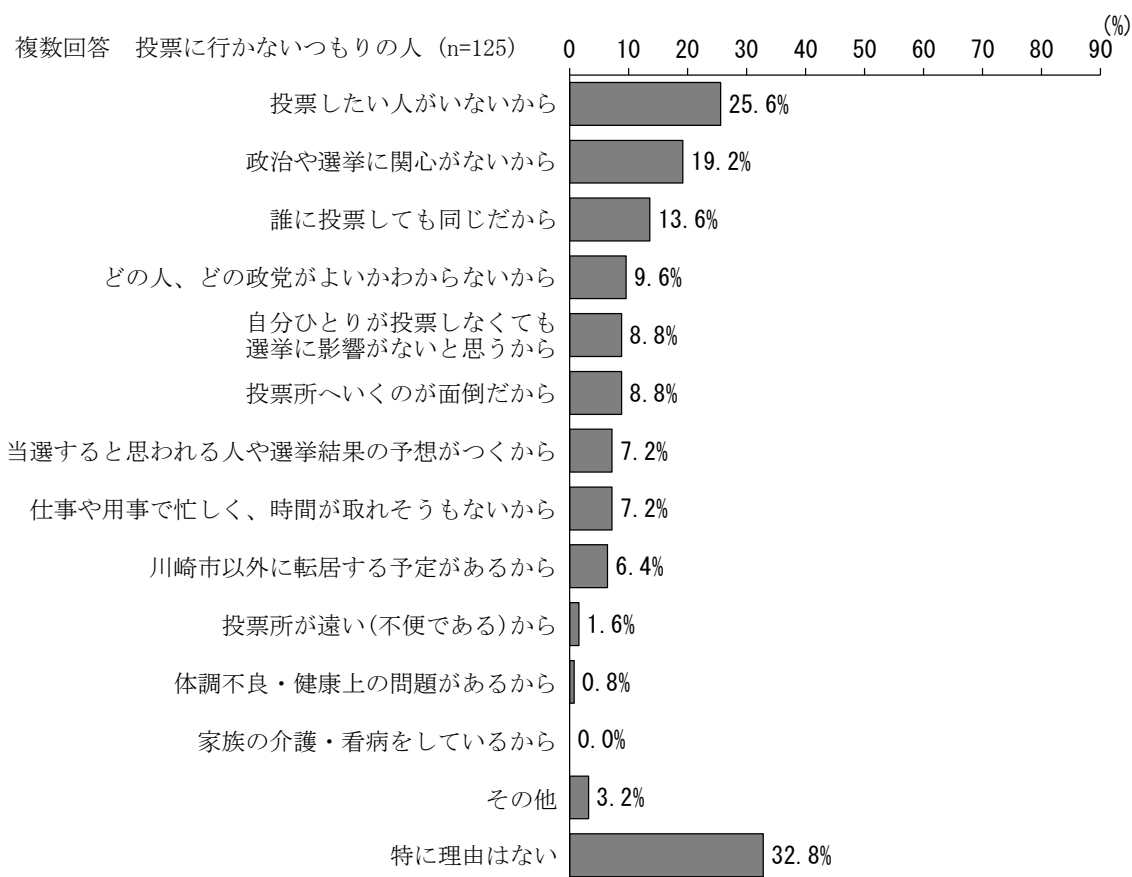
性/年齢別では、おおむね年代が高くなるほど「投票に行くつもり」の割合が高くなる傾向があり、男女ともに18~29歳では4割前後であるのに対して、30歳以上では5割を超え、特に、男性の60歳以上の年代では8割を超えている。

### 3-10 投票に行くつもりがない理由

◎「投票したい人がいないから」が25.6%

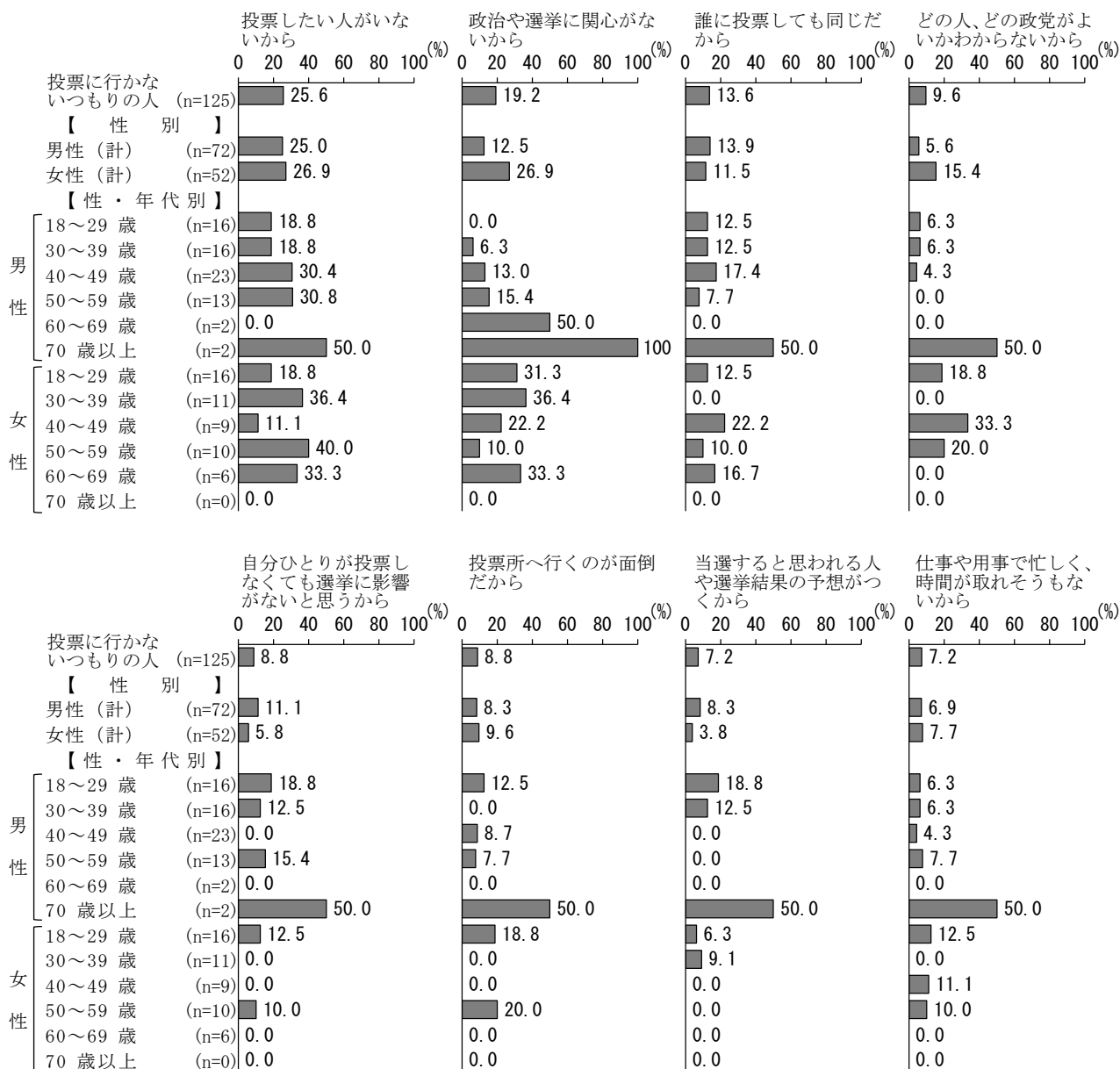
問19. 投票に行くつもりがないのはどのような理由からですか。(いくつでも)

図表3-27 投票に行くつもりがない理由



「投票に行かないつもり」の人(n=125)に、その理由を聞いたところ、「投票したい人がいないから」(25.6%)が最も高く、次いで、「政治や選挙に関心がないから」(19.2%)となっている。

図表3-28 投票に行くつもりがない理由（性／年齢別 上位8項目）



性別では、「投票したい人がいないから」では男女でほとんど差がない一方で、「政治や選挙に関心がないから」では女性の方が、男性よりも高くなっている。

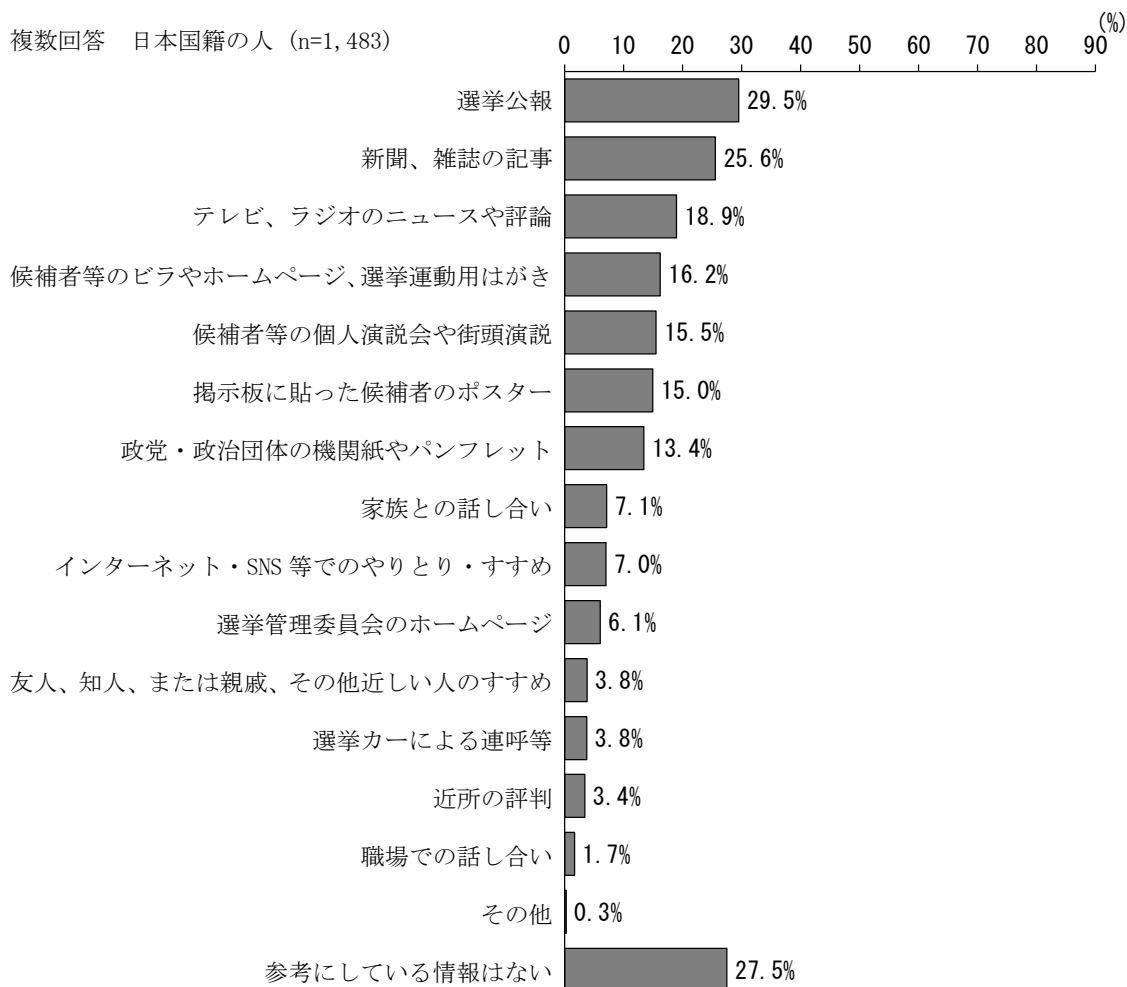
性／年齢別では回答者数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。

### 3-1-1 選挙での候補者等選びに際して参考になっている情報

◎「選挙公報」が29.5%、「新聞、雑誌の記事」が25.6%

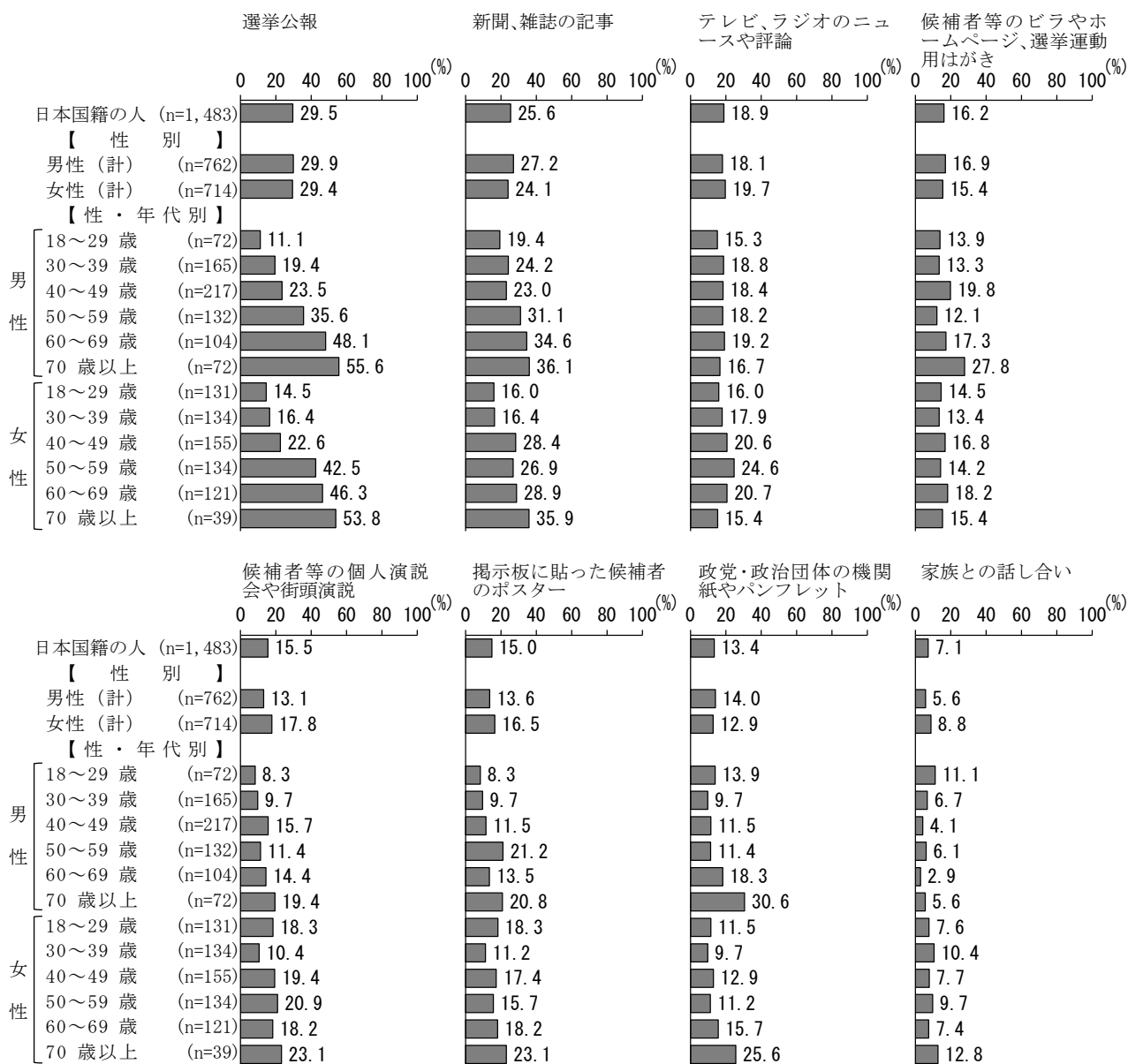
問20. あなたは、選挙で候補者等を選ぶ際に参考になっている情報がありますか。(いくつでも)

図表3-29 選挙で参考になっている情報



選挙で候補者等を選ぶ際に参考になっている情報を聞いたところ、「選挙公報」(29.5%)が最も高く、次いで、「新聞、雑誌の記事」(25.6%)の順となっている。

図表3-30 選挙で参考に使っている情報(性/年齢別 上位8項目)



性/年齢別では、年代が高くなるほど「選挙公報」を「参考に使っている」割合が高くなる傾向があり、男女ともに18~29歳では1割台前半であるのに対して、男性の60歳以上の年代と女性の50歳以上の年代では4割を超え、男女ともに70歳以上では5割を超えている。「新聞、雑誌の記事」もおおむね年代が高くなるにつれ「参考に使っている」割合が高くなる傾向があるが、男性の39歳以下の年代と女性の49歳以下の年代では、「参考に使っている」割合が「選挙公報」と同等あるいはそれ以上となっている。